

しんちゃん森の森林整備

5月8日（土）酒田市の西荒瀬保育園に隣接する国有林（庄内森林管理署と西荒瀬保育園で協定書を結んだ遊々の森「しんちゃんの森」新林国有林1131林班い1小班でクロマツ林の森林整備を実施しました。

当日は5月の爽やかな晴天に恵まれ、年長組園児の保護者（お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん）15名、保育園の先生11名、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター3名、庄内森林管理署1名、山形県庄内支庁森林整備課1名、万里の松原に親しむ会2名、NPO里の自然文化共育研究所1名総勢34名でクロマツ林の整備に挑みました。

西荒瀬保育園で取り組んでいる「みどりの保育園事業」は、山形県が実施している県民みんなで支える森・みどり環境公募事業からの支援を頂いて行っているもので、園児の保護者にも理解してもらう目的で、山形県庄内支庁森林整備課倉本主査からみどり環境税公募事業の説明を聞きました。

次に、クロマツ林の整備を行うことが初心者な園児の保護者や保育園の先生方がほとんどだったので、庄内森林管理署の庄司流域管理調整官から整備作業のやり方、道具（腰鋸）使い方、安全作業の心得、作業の注意点などの説明を受け作業にかかりました。

今回の整備内容は、灌木類の根元を腰鋸で地際から平滑に切って集積する作業を実施しました。灌木類の中にはノバラ類やツタウルシ等のツル類が多くあり、集積になんぎしましたが、作業員全員の頑張りで見違えるほど綺麗になりました。これからも、「しんちゃんの森」の整備を実施し、園児達が安全に遊ぶことができる環境づくりに取り組んで行くことを園児の保護者の皆さんと確認しました。

最後に、作業を終えて達成感を感じた作業員全員で記念写真を撮り解散としました。

